

# 教育の現場を知る



## 教育は人なり ～生徒と共に～



宮城県石巻商業高等学校教諭

**佐藤 雄**  
SATO Yu

### プロフィール

平成 14 年 3 月 仙台市立仙台商業高等学校 卒業  
平成 18 年 3 月 千葉商科大学商経学部経営学科 卒業  
平成 18 年 4 月 宮城県白石女子高等学校 非常勤講師  
平成 19 年 4 月 宮城県柴田高等学校 非常勤講師  
平成 21 年 4 月 宮城県立船岡支援学校 常勤講師  
平成 22 年 4 月 宮城県大河原商業高等学校 常勤講師  
平成 24 年 4 月 静岡県立浜松商業高等学校 教諭  
平成 28 年 4 月 宮城県石巻商業高等学校 教諭 (現在)

### 【…1. はじめに…】

私が千葉商科大学商経学部経営学科を卒業して10年が経ちました。卒業後は、故郷の宮城県に戻り6年間講師を経験し、その後、静岡県にて正規採用として4年間勤務をさせていただきました。今年度からは、宮城県にて正規採用として宮城県石巻商業高等学校で勤務させていただいております。今回、執筆を依頼されたとき、私自身が何か特別なことをやってきたわけではないですが、環境や地域、校種が変わっても一生懸命生徒と共に活動してきたことで得たことを、母校のため、そしてこれから教員を目指す後輩たちに何か伝えることができればと思い執筆をさせていただきました。

### 【…2. 学生時代…】

私が、千葉商科大学に入学を決めたのは、「商業の教員になること」「高校野球の指導者になり甲子園に行きたい」という夢があり、高校時代の担任の先生から、「商業の教員を目指すなら千葉商科大学に行きなさい」と勧められ、全国に多くの教員がいることを知っ



卒業記念品の贈呈



オリジナルTシャツ作成

たためです。

入学してすぐに、私と同じ夢を持つ仲間と出会い改めて教員志望が多い大学だと実感しました。そして、2年生の時に、中澤ゼミに入り、熱い先輩と同期そして中澤先生に出会うことができました。中澤ゼミでは、これまで経験したことのないような経験をさせていただきました。よく中澤先生からは、「教育は人なり」という言葉を教えていただきました。当時は、言葉としては理解はしていましたが、教育者となる上で実際にどのような意味をもつかわかりませんでした。しかし、キッズビジネスタウン、地域の方とのふれあい、沖縄・韓国への研修旅行、多くの方との出会い、先輩から後

輩までと一緒に活動することで、自分なりに考え行動するようになりました。

教諭となった現在、「人との関わり」のなかで「どう指導するか」ということをいつも考えています。大学時代の体験や出会いが原点となり、生徒一人ひとりが輝くように日々心がけることができていると感じています。大学、仲間そして昨年永眠された中澤先生に感謝の思いでいっぱいです。

### 【…3. 宮城県での講師経験…】

大学卒業後は宮城県の様々な高校で講師を経験させていただきました。1校目は女子高であり進学校で教科情報を、2校目は普通科と体育科がある高校で教科情報を、3校目は特別支援学校と商業とはかけ離れた学校で教鞭をとりました。今振り返ると、本当に貴重な経験であったと感じています。なぜなら、これらの学校には商業高校特有の検定を取得するということがまったくなかったからです。

当時は、商業高校なら検定を取得することが目標であり、検定合格が生徒の達成感や充実感を体験させることができると感じていたからです。しかし、その目標がないからこそ生徒に達成感や充実感を体験させることができるか毎日試行錯誤しながら、創意工夫をしていました。特に、グループ活動を取り入れプレゼンの作成や発表、画像編集や動画作成など多くの時間を生徒が主体的に活動できる環境づくりを目指しました。そして、少しでも情報に興味を持ってもらうこと、将来、授業でやったことを利用して情報を活用できるように授業をしてきました。この3校での経験は今も授業で活かされています。

その後4校目で定時制、全日制の商業高校で勤務することができました。同じ敷地内にあり両方経験ができたこと、商業科目を指導できたこと、女子ソフトボールの顧問を経験することができました。商業から離れていた期間が長いこともあり、多くの先生方の授業を見学させていただき、改めの商業の面白さと自分の知

識の少なさを実感しました。そして、検定合格は勿論のこと、学んだことが社会で活かせる授業をしなければならぬと考えさせられました。宮城県での講師経験を通じ、様々な校種や学校で経験できたことで多くのことを学ぶことができました。

### 【…4. 静岡県での教員生活…】

平成24年度から静岡県で正規採用となり静岡県立浜松商業高等学校（以下：浜商）で勤務することになりました。当時は、震災1年後の採用であったため、これから復興していくところで地元を離れることに悔しい思いをしていたことを思い出します。しかし、静岡の生徒のため、採用していただいた静岡県のために気持ちを切り替え静岡県での教員生活がスタートしました。

最初は、色々なところで戸惑いもありましたが、いつも明るく挨拶を交わすこと、何事にも周りを見て一緒に行動することで多くの人から声をかけていただき、助けていただきました。他県からきた私を、温かく迎えて下さり、多くのことを教えていただきました。浜商の4年間は、長いようであっという間に過ぎていきました。

部活動では伝統ある硬式野球部の顧問になり、毎日朝から晩まで生徒と一緒に汗を流していました。伝統校であるがゆえに多くのファンがいること、地域の方々から応援されていることなどこれまでにない経験を積むことができました。この環境で野球部の一員として活動できたことは本当に勉強になりました。

商業教育では、高度資格取得を目指す生徒もおり、私自身も教材研究に力を注ぎました。なかなか生徒を引き付ける授業展開をすることができず悩むことも多くありました。悩んだときこそ先輩教員の授業を見学し、相談することで乗り越えてきました。また、生徒会執行部の顧問として商品開発にも取り組みコンビニエンスストアとの共同開発を行うことができ、生徒ともに新しいことにも挑戦することができました。この

経験を通して私自身も多くのことを学ぶことができました。

そして、初めてクラス担任を持つことができました。クラス担任は初めての経験ではありましたが、多くの先生方を参考にさせていただきながら、毎日が勝負の日々でした。時には、生徒とぶつかり、思うようにいかないこともありました。しかし、生徒を信じ、私達大人が明るく元気に過ごすことで生徒も徐々に人を思いやりクラスの為に行動することができてきました。生徒、先生方にも恵まれ無事に卒業生を出すことができました。最初で最後の静岡での教え子たちに感謝の思いでいっぱいです。



コンビニとの共同開発



初めての卒業生

### 【…5. おわりに…】

今年度より、宮城県石巻商業高等学校でお世話になっています。宮城から静岡へそして宮城へと戻り、多くの人から学び、経験をさせていただいたことに感謝の思いでいっぱいです。

現在の勤務校は、震災で大きな被害を受けた地域です。5年がたった今でも、未だ当時のままの状態のところもありますが、復興に向けて少しずつ以前の活気が出てきたと感じております。私自身、何ができるかまだわかりませんが、今の、環境で、地域で精一杯やることが復興につながると感じています。私達大人が元気にいること、生徒と共に活動することで学校から地域に夢や希望を発信していければと考えています。これからも人との出会いを大切に、生徒と共にをモットーに取り組んでいきたいです。



現在のクラス